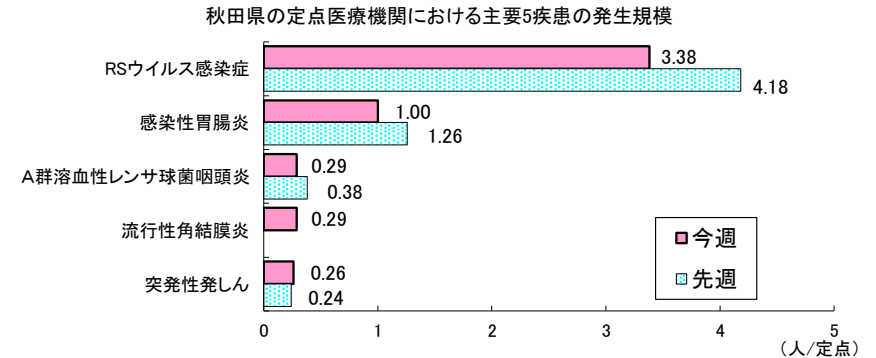




【第26週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. RSウイルス感染症は、県全体で19%減少しています。保健所別では、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、能代で同規模、秋田市、大館、大仙、横手で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で21%減少しています。保健所別では、大館、能代、横手で増加、秋田市、北秋田、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で24%減少しています。保健所別では、秋田中央、横手、湯沢で増加、秋田市、大館、大仙で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減			
RSウイルス感染症	4.18	3.38	↘	3.00	2.71	↘	13.50	11.50	↘				0.67	0.67			1.00	↗	3.00	3.25	↗	6.50	1.25	↘	5.67	5.00	↘	3.33	3.67	↗
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.35	0.24	↘	0.71	0.57	↘	1.50	0.25	↘							0.25	↗										0.33	0.67	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	0.29	↘	0.43		↘	1.25	0.75	↘							0.25	↗				1.00	0.75	↘	0.33	0.67	↗		0.33	↗	
感染性胃腸炎	1.26	1.00	↘	2.00	1.57	↘	0.25	1.25	↗	1.00		↘	1.33	1.67	↗	1.00	0.75	↘			1.75	0.50	↘	0.33	1.00	↗	3.33	1.67	↘	
水痘	0.12	0.18	↗					0.50	↗	0.50		↘	0.67	1.00	↗				0.25	0.25										
手足口病		0.06	↗		0.14	↗														0.25	↗									
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.24	0.26	↗	0.57	0.43	↘	0.50	0.25	↘		0.50	↗								0.50	↗				0.33		↘	0.33	0.67	↗
ヘルパンギーナ		0.03	↗																			0.25	↗							
流行性耳下腺炎	0.03		↘				0.25		↘																					
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.29	↗		0.67	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から50人、能代保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から6人、由利本荘保健所管内から2人、大仙保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-25週		26週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	7426	38	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	842	8	1
	腸チフス			
四類	E型肝炎	259		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	36		
	エキノコックス症	15		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	62		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-25週		26週	
		全国	秋田	秋田	
四類	チクングニア熱				
	つつが虫病	118	1		
	デング熱				
	東部ウマ脳炎				
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
	ニパウイルス感染症				
	日本紅斑熱	145			
	日本脳炎				
	ハンタウイルス肺症候群				
	Bウイルス病				
	鼻疽				
	ブルセラ症	1			
	ベネズエラウマ脳炎				
	ヘンドラウイルス感染症				
	発しんチフス				
	ポツリヌス症	2			
	マラリア	5			
	野兔病				
	ライム病	7			
	リッサウイルス感染症				
	リフトバレー熱				
	類鼻疽				
	レジオネラ症	662	6		
	レプトスピラ症	2			
	ロッキー山紅斑熱				
	五類	アマーバ赤痢	261	2	
		ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	92	1	
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		853	11	1	
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		8			
急性脳炎		160			
クリプトスポリジウム症		2			
クロイツフェルト・ヤコブ病		77			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		302	3		
後天性免疫不全症候群		482			
ジアルジア症		19			
侵襲性インフルエンザ菌感染症		111	1		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1			
侵襲性肺炎球菌感染症		710	6		
水痘(入院例に限る)		127	3		
先天性風しん症候群		1			
梅毒		3149	22		
播種性クリプトコックス症		68			
破傷風		43			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		61			
百日咳	300	3			
風しん	7				
麻しん	2				
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1				
* 新型コロナウイルス感染症	699	60			

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<手足口病について>

手足口病は、エンテロウイルスを原因とする“夏かぜ”の一種です。ここ数年は隔年ごとに大きな流行がみられています(図)。今年も、全国の第25週における定点あたりの患者数は0.11、秋田県は第25週0.00、第26週0.06とこれまでのところ報告数の増加は見られていませんが、これから流行期をむかえますのでご注意ください。

■症状

40℃近い高熱とともに、口の中、のどの奥、手足等、身体に水疱や潰瘍が現れます。のどの強い痛みのため飲食が困難になることもありますので、脱水等を起こさないように注意が必要です。患者の多くは1週間程度で回復しますが、無菌性髄膜炎を併発する場合があります。意識障害などの重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診してください。

■病原体

エンテロウイルスには70以上の型があります。年ごとや流行期の途中で主流となる型が入れ替わるため、一度感染しても別の型に再度感染することがあります。患者の唾液や便に排出されたウイルスが、手指を介して鼻や口から感染します。回復後も2~4週間はウイルスの排出が続くとされています。

■予防

予防対策としては、手洗いが有効です。また、栄養バランスのよい食事、十分な睡眠など、日常生活における体調管理も大切です。

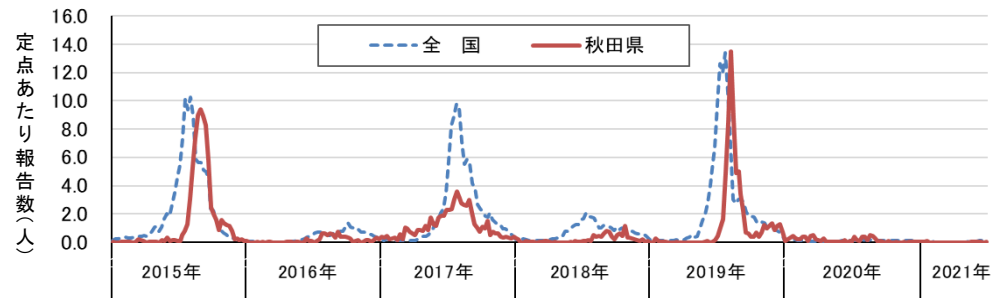


図 手足口病 定点あたり患者報告数の推移



RSウイルス感染症情報

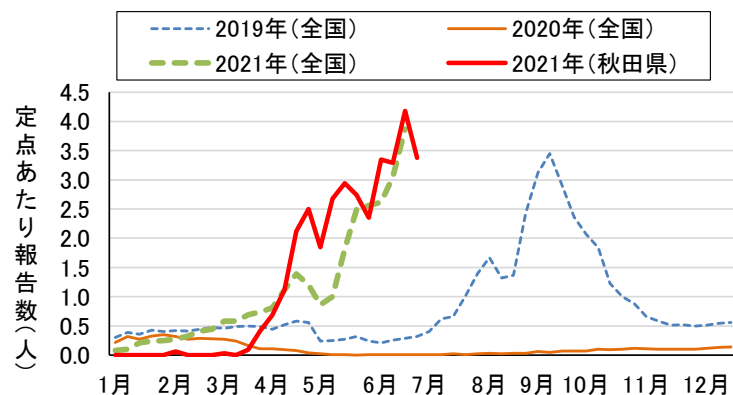


図1 RSウイルス感染症の定点あたり報告数の推移

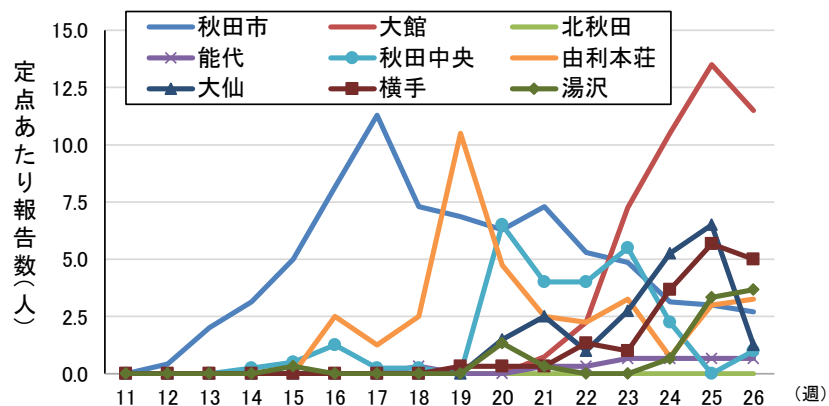


図2 RSウイルス感染症の保健所別定点あたり報告数(2021年)

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症集団発生報告が10件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
由利本荘市	本荘保育園	6/28	123名のうち15名	32名のうち0名	15名	6/20～6/28	発熱、咳、鼻汁
横手市	和光保育園	6/28	86名のうち18名	21名のうち0名	18名	6/16～6/28	発熱、咳
横手市	浅舞感恩講保育園	6/28	82名のうち12名	24名のうち0名	12名	6/19～6/28	発熱、咳
羽後町	たしろこども園	6/28	32名のうち10名	14名のうち0名	10名	6/23～6/28	咳、発熱、鼻水
大館市	扇田こども園	6/30	75名のうち21名	26名のうち1名	22名	5/31～6/30	発熱、咳、鼻汁、くしゃみ
大館市	扇田保育園	6/30	83名のうち11名	36名のうち0名	11名	6/23～6/30	発熱、咳、くしゃみ
大仙市	おおたわんぱくランドのびのび園	6/30	80名のうち14名	22名のうち0名	14名	6/22～6/30	発熱、咳
大館市	大館ホテヤこども園	7/1	174名のうち15名	24名のうち0名	15名	6/23～7/1	発熱、咳、鼻汁
仙北市	角館西保育園	7/1	31名のうち11名	14名のうち0名	11名	6/25～7/1	発熱、咳
横手市	吉田保育園	7/1	73名のうち16名	21名のうち0名	16名	6/25～7/1	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	能代(1.00)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		